

ジェットストリーム

2024.7.9

知らない間に増えていってしまうものの一つにボールペンがある。景品や粗品のようにして増えていく。そして、困る。なぜなら、私が使うボールペンは決まっているからである。愛用の筆記用具である。それが、「uni JETSTREAM」である。それもシャープペンとボールペンが一体となった「4 & 1」である。

シャープペンとボールペン、これが長年の課題であった。毎日使うものなのにしっくりこない、納得がいかないのである。シャープペンとボールペンそれぞれ1本ずつ持つのも嫌である。できれば1本にしたい。

文具店に行くと、シャープペンとボールペンのコーナーに行く。もう半ばあきらめかけていた。自分に合うものはないんだと。あるとき、新たなシャープペンと4色ボールペン一体型を見つけた。機能的には十分である。今まで探してきたものよりも値段が格段に安い。安いイコールよくないという考えが頭をよぎった。とりあえず書いてみた。

まずはシャープペンである。書きやすい。持ちやすい。字が上手くなったように感じた。感動である。次はボールペンである。「なんだこの書き心地は。この滑らかさはなんだ」衝撃だった。ようやく巡り合うことができた。長年追い求めてきたものに出会うことができた。もう迷いはない。

後になってジェットストリームにも種類があることがわかった。いつの間にか、20本ものジェットストリームが集まってしまった。中には、私のジェットストリーム好きを知っている方から、ネーム入りのものをいただいたこともある。各種の色もそろっている。ボールペン芯の太さにも種類がある。使ってみた結果、「0.38極細」が自分には合っていることがわかった。

毎朝、数あるジェットストリームからどれを選ぶか。それが、ささやかな楽しみとなっている。伊集院静さんの「大人の流儀9 ひとりで生きる」の165ページに、こんなことが書かれてある。

私は今、この原稿をボールペンで書いている。“ジェットストリーム”という三菱鉛筆が製造しているものだ。

長くさまざまなペン、鉛筆を使用してきたが、今はこれが一番、指、腕に負担がかからない。

私は毎月、四百枚から六百枚（四百字詰）の原稿を書いている。その大半がこのボールペンである。

うれしかった。著名な作家からお墨付きをいただいたようなものである。私の選択は間違っただけではなかった。さすがに、20本もあると多すぎるとも思うこともある。もう新しいものを購入するのはやめようと思う。とはいえ、いつまで我慢できるかはわからない。これからも、ジェットストリームとともに歩んでいきたい。